

(様式5)

平成30年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号

63

I 自己評価

1	学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。		
2	評価する領域・分野	進路指導		
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	「進路情報の提供」「適切な指導」に関するアンケート結果は、生徒および保護者・評議員共に概ね90%が「あてはまる」と回答している。		
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持ち、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。		
5	重点目標を達成するための校内組織体制	教務、各学年、各教科、商業専門部、工業専門部		
6	目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
	(1) キャリア教育の推進 (2) 地域に貢献できる人材の育成 (3) ガイダンス機能の充実 (4) 基礎学力等の向上 (5) 大学進学指導の強化と充実	(1) 将来に対する目的意識を持ち、主体的に取り組む (2) 望ましい勤労観・職業観の形成と地域産業の理解 (3) 進路活動への適応と主体的な選択 (4) 進路実現に向けた基礎学力の習得 (5) 語学力や専門知識を生かした進路の実現		
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
	(1) 学習活動全体を通してキャリア教育を展開 (2) 企業訪問、意見交換会、学校説明会等 (3) 卒業生と語る会、ビジネスプラス展、就職ガイダンス、事業所見学、合同企業展、学校見学会等 (4) R-time、校内基礎力認定試験、外部テスト (5) 小論文指導・センター試験対策補習・講話等	(1) 指導内容の連携と充実 (2) 地域産業の理解と人材の輩出 (3) 自己理解と目的意識をもった主体的な進路活動 (4) 希望の学校、企業への進路実現 (5) 国公立大学等への合格状況	A (B) C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D (A) B C D	
11	成果・課題	○商業科進学クラスを中心に、国立大学に5名が合格することができた。また、工業科進学グループにおいても補習授業や講話、出前授業、大学見学等の活動を計画的に実施した。 ○保護者に進学相談会や関市主催の就職セミナーに参加していただき、進路に関する情報収集の機会を提供すると共に、進路実現に向けての意識を高めていただくことができた。 ○3年生の就職指導において、求人増加に対し、これまで以上に早めの指導を展開したことや教員間の密な連携により、大きな混乱もなく円滑に進めることができた。 ●新しい大学入試制度に備えて、本校の進学実態に応じ、ポートフォリオの記録や調査書の内容の変更に伴うシステムの改良が必要である。		総合評価 A (B) C D
12	来年度に向けての改善方策案	・地元企業の見学や合同企業展、ビジネスプラス展等の行事において、これらの行事の事前および事後の指導内容を見直し、より一層、充実した行事となるよう努める。 ・工業科進学グループにおいて、次年度の3学年体制に備え、補習授業の指導体制の更なる充実を図る。 ・新しい大学入試に備え、他校とも情報を共有して本校の実情に応じた取り組みを実践していきたい。		

II 学校関係者評価

実施年月日 平成31年1月23日

【意見・要望・評価等】 ・様々な学習活動において、保護者、地域との連携を密にした取組を継続し、生徒が自己肯定感を持って進路実現ができる指導を目指してほしい。
